

野菜、苗求め住民続々

太曲農高 生徒栽培、販売も



お客さんに苗を手渡す生徒（左）

大仙市太田町の太曲農業高校太田分校の生徒が、自分で育てた野菜や花の苗を同分校で販売した。ナスやキャベツ、サルビアなど11品種の

苗が並び、地域住民らが続々と買いに訪れた。

苗の販売は例年5月上旬に実施。地域の人々と交流を深める目的で、今回初めて生徒

が販売した。生徒は「いかがですか」と呼びかけ、たくさん購入したお客さんには「車まで運びます」と声をかけながら接客していた。

昨年も同分校で苗を買い家の畑で育てたという同市太田町の仲村聖徳さん(76)は、ナスとトマト、マリーゴールドの苗を購入。「頑張って育てた高校生を応援したいという気持ちで来た。質も良く、今年も収穫が楽しみ」と話した。

苗は生徒が今年2月に種をまいて授業で育て、今月9日に販売した。3年の藤枝祐喜さんは「自分たちが育てた苗をたくさんの方が買ってきて、苗を受け取って『ありがとう』と言ってくれたのがうれしい」と話した。

(針金友理子)